



新緑の中スタートを切るランナー

河岸段丘ハーフマラソンでランナー快走

昭和村マラソン実行委員会(堤盛吉委員長)が主催する「第4回やさい王国昭和村河岸段丘ハーフマラソン」が5月27日、



ハーフの部男子総合優勝の吉田さん

総合運動公園特設会場を発着点とし望郷ラインや大規模農道で開催されました。

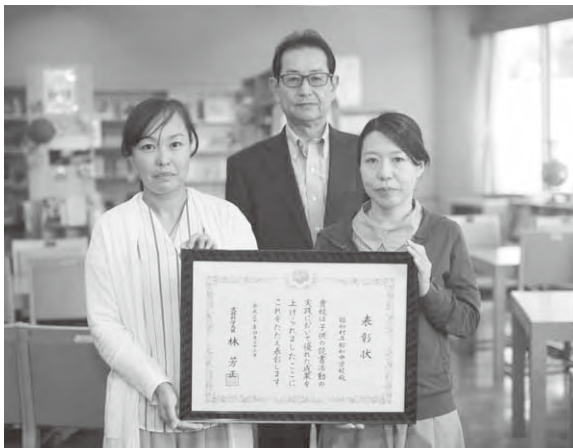
大会は、県内外から1,500人のランナーがエントリー。ハーフ21km、5km、2kmの3種目で行われ、コース上に集まった人たちの応援を受けながら、ランナーが走り抜けました。会場では、村商工会や赤城高原農業観光協会、農業委員会などによるおもてなしが行われました。なお、大会はスポーツくじotto・BIGの助成を受け実施しています。

スポーツ少年団が

清掃活動

村スポーツ少年団(原澤研祐本部長)は5月19日、村総合運動公園やふれあいグリーンパークの清掃活動を実施しました。

これは、同団が「河岸段丘ハーフマラソンを控え、訪れた人たちに施設を気持ちよく利用してもらおう」と奉仕活動の一環として毎年実施しているもの。今年度はサッカー、野球、柔道、剣道、バレーボールの6単位団から74人が参加。朝8時30分からゴミ拾いや除草作業を行いました。



小野校長(中)と角田図書主任(右)、図書館事務の星野さん(左)

昭和中が文部科学大臣賞を受賞

昭和中学校は4月23日、「平成30年度子供の読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞しました。

この表彰は、子どもたちが読書活動に対する意欲を高めるために、優れた取り組みを実践している学校に贈られます。

昭和中学校は、図書主任の角田章子先生や図書館事務の星野恵さんを中心に、生徒たちが興味を持てる図書室づくりを展開。県内の中学校で初めて図書室で授業を行う指定を受け、生徒が気軽に本に触れられる

環境づくりを行っています。

また、生徒たちが互いに好きな本を紹介し合い、生徒の投票数で勝敗を決める「ビブリオバトル」を取り入れるなど、先進的な取り組みも実践しています。

角田先生と星野さんは、「図書室に多くの生徒が来てくれるようになった。ビブリオバトルなどを通じ、図書室の活動にも興味を持ってもらえるようになったので、これからも積極的に活動していきたい」と語りました。



作業に汗を流す団員たち



出席者らによる登り初め

赤城山船ヶ鼻登山道で安全祈願祭

赤城山船ヶ鼻登山道の安全を祈る祈願祭が5月13日、長者の原・結婚の森で行われました。



祈願にあたり挨拶する堤村長

この登山道は、結婚の森を登山口とし

て全長9・8kmとなっており、牛石コース(5・8km)と榎水コース(4km)の2つのコースがあります。

祈願祭には、村関係者や登山愛好家などおよそ60人が出席。神事にあたり堤村長は「いよいよ夏山シーズンです。この船ヶ鼻登山道において事故が起きないように、皆様と連携を取りながら安全に登っていただけるようにしていきたい」とあいさつ。

祈願祭の後、新緑に囲まれた登山道の登り初めが行われました。

横浜開港記念バザーで村をPR

第87回横浜開港記念バザーが5月29日から6月4日まで横浜市の横浜公園で開催され、村がPRのため出店しました。

このバザーは横浜の開港記念日である6月2日を祝うもので、同日を含む一週間の日程で毎年開催されています。

出店は、村の委託事業として、村商工会をはじめ、道の駅「あぐりーむ昭和」などの協力で行われました。会場には69の店舗が出店。昭和村のテントでは、レタスやキャベツなどの高原野菜をはじめ、農産物加工品を販売し村をPRしました。



村の特産品を通じ市民と交流

訪れるお客さんの中には、「毎年、昭和村の野菜を楽しみにバザーに来ています」と再訪される方も多く、村のテントは連日賑わいました。



多くの人で賑わった昭和村のブース



優秀賞を受賞した石川さん親子

良い歯の子で
石川さん親子が優秀賞

「利根沼田地区母と子の良い歯のコンクール」の表彰式が5月25日、利根沼田保健福祉事務所で行われました。

村からは、石川智恵美さん、智成実ちゃん親子(根岸)が出席し、優秀賞を受賞しました。

石川さん親子は、3月29日に公民館で行われた「良い歯の子と育てた家族」の表彰式で表彰を受けた42組から、村の代表としてコンクールに出席しました。コンクールの審査では、子どもや親の歯や歯肉、清掃状態などがチェックされます。